

2020年6月15日

各 位

会 社 名：ウインテスト株式会社
(コード:6721 東証二部)
代表者名：代表取締役社長 姜 輝
問合せ先：専務取締役 樋口 真康
(TEL:045-317-7888)

当社2020年7月期連結業績予想に関して

当社は、2019年9月13日に公表いたしました2020年7月期通期連結（2019年8月1日～2020年7月31日）の連結業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染拡大が当社の顧客に与える影響が未知数であることを踏まえ、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年7月期の連結業績予想数値の修正（2019年8月31日～2020年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純 利益
前回発表予想	百万円 1,518	百万円 160	百万円 158	百万円 158	円 銭 5.26
今回発表予想	未定	未定	未定	未定	未定
増減額	-	-	-	-	-
増減率	-	-	-	-	-

2. 2020年7月期の業績予想数値の修正（2019年8月31日～2020年7月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想	百万円 1348	百万円 155	百万円 155	円 銭 11.85
今回発表予想	未定	未定	未定	未定
増減額	-	-	-	-
増減率	-	-	-	-

3. 修正の理由

日本におきましては、新型コロナウイルス禍は収束に向かいつつあるように感じられますが、世界ではまだ、感染の拡大が進行しており予断を許さない状況が続いており、国内経済はもとより、世界経済への大きな影響が顕在化してきております。このような状況の下、当初、大阪事業所並びに、中国武漢に設立した製造工場（以降「武漢工場」という。）で協業体制を組み製品を出荷する計画でございましたが、新型コロナウイルス禍の影響で、武漢工場の一時休止を余儀なくされましたが、影響を回避すべく不休で当社大阪事業所の製造体制を見直し、増強を図ってまいりました。しかし、新型コロナウイルス禍の影響は、思いのほか広範囲にわたり、デバイスメーカーはもとより顧客製造工場の減速を伴い、その影響から出荷月の後倒し要請が顧客からあることから、一部装置の出荷検収に月ずれが発生することとなりました。

当社グループは2019年9月13日付けで公表した2020年7月期の連結業績予想につき、今後の動向を見極めつつ対応策を検討してまいります。現時点において、業績への影響額を合理的に見積もることは困難であることから、当社が2019年9月13日に公表いたしました、2020年7月度連結業績決算予想を一旦未定といたします。

4. なお、業績予想につきましては、今後、適切かつ合理的な見積りが可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注意事項)

このリリースは、現時点で把握できている新型コロナウイルスの感染拡大による当社グループへの影響を記載したものであり、将来起こりうる影響についてはこれらに限定されるものではありません。今後も重要な情報の進展がある場合は、速やかにお知らせします。

以上